

# 理研会報

今年度初めての理研会報 320 では、平成 18 年度理科研究部のスタートにあたっての研究部長のあいさつや平成 18 年度に予定します事業に関する内容等を掲載します。

## 研究部長あいさつ

研究部長 飯田 和宏(根木名小学校)

これまで多くの先輩の先生方がご尽力され、伝統を築き上げてこられた印教研理科研究部の部長という大役を仰せつかることとなり大変緊張しております。先輩の先生方の思い、そして現職会員の先生方の思いをしっかりと受け止め、理科研究部の充実のため頑張っていきたいと思えます。ご支援、ご協力よろしくお願い申し上げます。

さて、戦後、「科学立国」「物づくり大国」として成長してきた日本。その原点は「理科教育であった」と振り返る人々がたくさんおります。と同時に「科学立国」「物づくり大国」として成長してきた日本を再び盛り上げなければという声も数多く聞かれています。「理数教育の充実」ということもあちらこちらで語られています。

そのような状況の中、直接子どもたちとかかわりあう中で理科教育の推進をしている私たち現場人も、今一度理科教育の充実に向けて意を新たにしていかなければと感じています。研究部員 340 名。組織的かつ地道な現場発想的な研究・研修等を通し、「子どもたちに理科学習の楽しさ、追求の喜び」を味わわせられるよう努力しあいたいものです。

総会で確認された本年度の事業について再度掲げさせていただきます。理科研究部の一員として、趣旨や思いをご理解いただき、ご支援・ご協力をお願いいたします。

### 1. 教育研究集会の推進・充実

本研究部は、近隣の学校が連携し共同研究を進めている数少ない研究部の一つです。どの部会も研究員の拡大・確保等に課題を抱えつつも、共同研究だからこそ日々の授業実践に還せる研究、広がりのある研究になっていると感じています。発表のための研究に終始してしまうことなく、日々の授業実践からの課題や成果を大切にされた発表、魅力ある研究内容をしっかりと検討していただき、中身のある発表を期待しています。

### 2. 理科作品展の充実

「次につながる」「もっと調べてみたい」「こんなことができたらいいな」まさしく日々の理科の学習が「うるおいのある活きた学力」へと変容していく姿であろうかと思えます。「考える。工夫する。気づく。」そんな中で生まれた作品を数多く出品しあいたいものです。先生方をはじめとした子どもたちの周りの大人のちょっとした一言が子どもたちの創造性に火をつけます。今年度は県展への出品点数も増えました。数多くの出品を期待しています。

### 3. 理研会報の発行、積極的参加

理研会報も、昭和40年11月に第1号が発行されて以来、300号を超える会報となりました。理科研究部みんなで作り上げてきた会報です。今年度もできるだけ多く発行していきたいと考えています。

ただ、最近の傾向として、定例の事業報告的な記事が中心となっているように思います。過去の会報を振り返ってみると先輩の先生方が実践記録や雑感を数多く投稿してくれました。今年度はそういった面も大切にし、理研会報を充実させていきたいと思えます。積極的な投稿をお待ちしています。

最後に、平成18年度も始まったばかりですが、5月の総会、6月の研究員集会を通して、今年は「研究部のいきおい」を感じています。この「いきおい」こそ研究部充実の基盤であろうかと思えます。会員の先生方の積極的な取り組み、そして、ご支援・ご協力をよろしく願います。

## 理科研究部事業予定(H18)

理科研究部では、以下のように事業を予定しております。

一昨年度の新規事業として、郡理科作品展において印旛教育会館への会場変更や各市町村の広報誌を通しての広報活動を行いました。また、昨年度は、ホームページの立ち上げを行い、印教研理科研究部の行事計画、過去の理研会報などの掲載を行っております。今後も、ホームページをさらに充実させていくとともに、メール等を活用した連絡体制を整備していきたいと考えています。どうぞご協力をお願いいたします。

4月26日(水) 第1回役員会  
<成田小>

5月10日(水) 印旛地区理科研究部総会  
<成田小>

6月7日(水) 第2回役員会  
研究員集会  
<印旛教育会館>

夏休み中 理科実技研修会<部会毎>

8月24日(木) 印旛地区理科研究部会  
<千葉敬愛短期大学>

9月22日(金) 郡理科作品展(搬入審査)

9月23日(土) 郡理科作品展(一般公開)

9月25日(月) 郡理科作品展(搬出)  
<印旛教育会館>

2月21日(水) 第3回役員会  
研究員集会 <成田小>

一昨年度まで郵便等を利用して理科研究部の活動に関するお知らせをしてきましたが、昨年度より、メールを活用して連絡を取り合うようご協力をお願いして参りました。メールによる連絡には、次のような利点があります。

- ・郵送にかかる経費が削減できる
- ・素早く連絡を取り合うことができる
- ・文書等のファイルを添付することができる  
(さらに加除修正も容易である)
- ・情報を広く発信することができる

印旛管内全ての学校にメールアドレスがあります。今後も、メールを活用して連絡を取り合えるようにしていきたいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。

## 2. 理科研究部ホームページについて

昨年度、理科研究部のホームページを立ち上げました。理科研究部の活動や理科の授業に役立つ情報など、できるだけ早く、多くの方に知っていただくことを目的としています。

今後は、教研集会のデータベース化、過去の理研会報の掲載など、より充実させていきたいと思っております。また、トップページからは、理科研究部事務局直通のメールのボタンも用意しております。各種行事についての返信、理研会報の原稿送付などでご活用下さい。

アドレス <http://rikainba.or.tv>

## 理科研究部 理事一覧

理科研究部長 飯田 和宏(根名小)

理科研究部副部長 深山 民夫(佐倉小) 古嶋 美文(八街北小)

各部会理科研究部長

一部会 小山 成志(王子台小) 二部会 阿部 猛(公津の杜小)

三部会 片岡 勤(桜台中) 四部会 水野 修(川上小)

五部会 山下 博樹(四所小)

理事

<一部会>

佐藤 光廣(王子台小) 高橋 正昭(上志津小) 石田 政光(西志津小)

土井 仁(白井南中) 林 和之(小竹小) 松橋 和彦(下志津小)

清水 龍彦(南部中) 下畦 能正(根郷小) 貝塚 健太郎(酒々井小)

佐藤 由美子(白銀小) 宮入 芳雄(白井西中) 杉山 栄一(佐倉東中)

<二部会>

阿波崎 守(玉倉中) 木川 香(加良部小) 吉田 清(久住中)

麻生 辰浩(玉倉中) 片瀬 実(久住中) 中村 一正(遠山中)

梅里 之朗(根名小) 相田 義則(成田中) 武井 正巳(中台小)

飯田 隆雄(新山小) 平野 久(富里中) 林田 孝二(富里中)

村居 一幸(公津の杜小) 江村 司(成田小) 齋藤 政勝(酒直小)

片岡 勝美(久住第一小) 阿部 猛(公津の杜小) 佐々木 猛(久住中)

井上 功太郎(吾妻中)

<三部会>

加藤 弘明(印旛中) 岸 廣(瀧野中) 松田 治久(桜台中)

鈴木 宏(大山口中) 大坊 孝志(小林中) 古谷 薫(本笠第一小)

河邊 久男(瀧野中) 佐久間保男(小倉台小) 鋸田 明(南山小)

小林 茂(小林中) 山田 長雄(印西中) 森 成雄(七次台中)

森本 敏彦(白井中) 宮本 久男(瀧野中) 蒲原 豊(高花小)

<四部会>

若狭 雪雄(八街北中) 川原 裕二(八街北小)

箭内 義夫(笹小) 岡 清志(八街東小)

<五部会>

間宮 哲人(山梨小) 小山 治(吉岡小)

<敬称略・順不同>

<幹事>

小栗 雅彦(酒々井中)

東 孝明(成田小)

坂本 文則(中央小)

